



# 喜多流自主公演

平成三十年十月

平成30年 10月28日(日)

12:00 開演 (11:00 開場)

## 十四世喜多六平太記念能楽堂

料金:全席指定(税込)

S席 9,000円 A席 8,000円 B席 7,000円

C席(1階階敷席) 6,500円 D席(2階席) 6,500円

学生席(2階席) 2,500円(25歳以下、要学生証提示)

・午前11時15分より、本舞台にて当日の演目の解説をいたします。  
お気軽にご参加ください。

・当日券をご用意できる場合は午前10時45分より発売いたします。

主催:公益財団法人 十四世六平太記念財団

協力:喜多流職分会

後援:品川区、品川区教育委員会

助成:文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)  
独立行政法人日本芸術文化振興会



東岸居士 栗谷明生  
融 蝉 丸 高林 呻二  
栗谷 浩之

### チケット予約購入のご案内

#### インターネット

喜多能楽堂ホームページ <http://kita-noh.com/>  
(24時間対応、要登録・無料)

【お受取り・お支払い】

#### ① セブンイレブン

ご予約の際画面に表示された番号をレジにご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。ご予約の際クレジットカードで先にお支払いを済ませていただくことも可能です。

#### ② 喜多能楽堂事務局 窓口

クレジットカードでお支払いの上(ホームページでのweb決済)、ご予約の際に画面に表示された番号を窓口にご提示いただき、チケットをお受取りください。現金でのお支払いはできません。

#### 電話予約

喜多能楽堂事務局 TEL 03-3491-8813  
(午前10:00～午後6:00 休館日あり)

【お受取り・お支払い】

#### ① セブンイレブン

ご予約の際お伝えする番号をレジにご提示の上、チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。

#### ② 郵送

チケット代金と手数料を指定の銀行口座にお振込みください。  
入金確認後、簡易書留にてチケットをお届けいたします。

#### ③ 喜多能楽堂事務局 窓口

ご予約の際お伝えした番号を窓口にご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金のみとなります。

#### 窓口

喜多能楽堂事務局 TEL 03-3491-8813  
(午前10:00～午後6:00 休館日あり)

【お受取り・お支払い】

お支払いは現金のみとなります。

※お受取り・お支払い方法によって別途手数料がかかります。  
ご予約の際ご案内いたします。  
※平成30年度公演の後半5回分は発売中です。  
※ご予約いただいたチケットのキャンセル、変更はできません。

### ご注意

- ・開演中の途中入場はお断りいたします。
- ・未就学児童のご入場はご遠慮ください。
- ・やむを得ない事情により出演者が変更になる場合がございます。
- ・許可なき写真・ビデオ撮影、及び録音はお断りいたします。
- ・客席での携帯電話やスマートフォンなど音や光の出る電子機器のご利用はお断りいたします。
- ・ロビー・見所でのご飲食はできません。2階ラウンジをご利用ください。
- ・喜多能楽堂は全館禁煙です。屋外喫煙所をご利用ください。
- ・お席を離れる場合は貴重品、お手回り品にご注意ください。盗難・紛失につきましては責任を負いません。ご了承ください。
- ・係員の指示に従っていただけない際には退場していただく場合がございます。

### 喜多流自主公演年間優待券

5枚綴り 35,000円

- ◆ご希望のどの席種でもお選びいただけるお得な年間優待券です。
- ◆お求めは喜多能楽堂事務局まで。各喜多流職分でも承ります。
- ◆ご観能の際は別途、座席指定券をご予約ください。
  - ・追加料金はかかりません。
  - ・ご予約は、インターネット、電話、窓口で承ります。
  - ・年間優待券のみでの観能はできません。
  - ・ご入場の際は、年間優待券と座席指定券をご提示いただきます。
- ◆ご利用は、表記年度中(4月～3月)の喜多流自主公演のみ有効です。青年能には使用できません。

### 自主公演観客席御案内



S席	9,000円	C席(1階階敷席)	6,500円
A席	8,000円	D席(2階席)	6,500円
B席	7,000円	学生席(2階席)	2,500円

### 会場案内図



JR線・東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線ともに目黒駅より徒歩7分。  
目黒駅西口よりドレメ通りを直進。杉野学園体育館手前を左に入る。  
※当能楽堂は駐車場施設がございませんので、お車での来場はご遠慮願います。

十四世喜多六平太記念能楽堂

〒141-0021 東京都品川区上十崎4-6-9

TEL: 03-3491-8813 FAX: 03-3491-8999

喜多能楽堂ホームページ: <http://kita-noh.com/>



能

シテ東岸居士 粟谷明生

### 東岸居士

ワキ旅人 福王和幸

大鼓 亀井洋佑  
小鼓 古賀裕己 笛 一噌隆之

アイ清水寺門前の者 中村修一

後見 友枝昭世  
内田安信

地謡 狩野祐一 佐藤章雄  
友枝雄陽 長島茂雄  
谷友矩 中村邦生  
友枝雄陽 狩野了一

狂言

### 栗焼

シテ太郎冠者 野村万作

アト主 岡 聡史

休憩(二十分)

能

シテ連蟬丸 佐々木多門

シテ逆髪 高林呻二

### 蟬丸

ワキ清貫 福王和幸

大鼓 亀井 実  
小鼓 森 貴史 笛 藤田貴寛

ワキ連典昇 村瀬 提

ワキ連典昇 矢野昌平

アイ博雅 内藤 連

後見 塩津哲生  
松井 彬

地謡 金子龍晟 谷 大作  
塩津圭介 内田成信  
友枝真也 出雲康雅  
高林昌司 大島輝久

休憩(十分)

仕舞

### 鐘之段

出雲康雅

地謡

佐藤寛泰  
狩野了一  
大島政久  
大島輝久

能

### 融

後シテ源融の霊  
前シテ老翁 粟谷浩之

ワキ旅僧 江崎欽次朗

大鼓 佃 良太郎 太鼓 梶谷英樹  
小鼓 住駒充彦 笛 槻宅 聡

アイ所の者 飯田 豪

後見 香川靖嗣  
佐藤 陽

地謡 渡辺康喜 粟谷充雄  
谷友矩 大村定雄  
佐藤寛泰 粟谷能夫  
友枝雄太郎 金子敬一郎

附祝言

終了予定時刻 五時頃

#### 東岸居士(とうがんじ)

東国から来た旅人が京都の清水寺へ参る途中、白川の橋の畔で、東岸居士に出会う。今日の説法を尋ねると「万事は皆、目の前に見せるものだから、『柳は緑、花は紅』である」と答える。更に旅人は「白川の橋はどなたが架けた橋なのかと聞くと、先師の自然居士が仏の無い衆生を濟度する為(現実には通行の便利のため)に架けられた筈なので、今もこのように補修をするために勧進しているのだと言う。そして東岸居士の素性を聞くと、東岸居士は、本来住む所がないの(出家というべき謂れもなく、出家してないので髪も剃らず法衣も着けないでいるのだと答え、そして旅人よどうぞ悟りの境地に至りなさいと勧める。東岸居士は旅人に面白く謡って聞かせてほしいと乞われると、云われるままに舞を舞い、羯鼓も打って遊芸の内に仏法を信じてように説いて聞かせる。

(約五十分)

#### 栗焼(くりやき)

知人から見事な栗を貰ったので、大勢の客に振る舞おうと思つて、太郎冠者に栗焼きを命ずる。数を間違えぬように気を付けて焼くように命ぜられた太郎冠者は、台所で丁寧に栗を焼き始める。焼くうちにいかにも美味しそうな香りが漂い、つい一つを食べてしまう。一食べるとあまりの美味しさに二つ三つと止まらなくなり、とうとう全部食べてしまう。主人への言い訳の面白さもあるが、何よりも栗の割ける有様や、焼きたての熱い皮をむく有様などを、言い回しで語る(言独特の滑稽の醍醐味が、存分に楽しめる曲である。

(約二十五分)

#### 蟬丸(せみまる)

延喜帝の第四の皇子蟬丸は、幼少のときから盲目であった。勅を受け侍臣の清貫が、蟬丸を捨てて逢坂山へ行く。蟬丸は前世の戒の縁を消滅させて、後世により果報を得るようにとの親の慈悲であること清貫に説き聞かせる。清貫は勅命に従い蟬丸を剃髪して出家させ簀と笠と杖をおいて帰る。一人になった蟬丸は、琵琶を抱えてさ伏す。そこへ博雅の三位がやってきて蟬丸を慰め薬屋を作つて中に入れて帰って行くのであった。一方、第三皇女の逆髪はいつの因果の故か、心が乱れて狂人となり髪の毛が逆さまに生えていた。そして狂(彷徨い逢坂山まで来て、路傍の藁屋の中から聞こえてくる琵琶の音により弟の蟬丸と再会する。二人はお互いに手を取り合い、自分たち(不運を嘆き互いに慰め合うが、いつしか時も過ぎて名残りは尽きいと言つて再び別れとなった。

(約一〇〇分)

#### 融(とる)

諸国一見のため、東国から都に上つてきた旅僧が、六条河原院の廃墟で休んでいると、目の前に潮汲みの老人が現れる。海辺でないのに不思議に思った旅僧が老人に尋ねると、この辺りは昔、源融の邸宅の庭に、陸奥の千賀の塩竈の景色を移したところだと言う。そして融の大臣は、日毎に潮を汲ませてここで塩を焼かせ、その風流を賞しんだ。しかしそれを受け継ぐ者もなく荒れ果てたと言う。老人は旅僧に周囲の名所を教え、汀で潮を汲むと姿を消す。(中入)やがて僧の夢に、融の大臣が殿上人の姿で現れ、昔を偲んで舞を舞い、やがて夜が明けとともに月の都へ帰っていった。

(約九十分)

### 平成三十年十一月自主公演番組予告

平成三十年十一月二十五日(日)正午始

十四世喜多六平太記念能楽堂

清 経 狩野了一

夕 顔 塩津哲生

項 羽 長島 茂

山之端之出